



第1部

フレデリック・ロウ  
「マイ・フェア・レディ」より  
踊り明かそう

The Pink Panther  
ヘンリー・マンシーニ

ムーン・リバー  
ヘンリー・マンシーニ

荒野の七人  
エルマー・バーンスタイン  
J.メイソン(編)  
ウエスト・サイド・ストーリー  
セレクション

ドラマティック・オーケストラ  
関西フィルハーモニー管弦楽団

関西フィルハーモニー  
藤岡幸夫 音楽指揮者

第2部

コッフェンバック 喜歌劇「天国と地獄(地獄のオルフェウス)」序曲  
フォーレ 劇音楽「ペレアスとメリザンド」組曲より

アンダーソン  
モンテイ  
ブルー・タンゴ  
チャルダッシュ  
ボロディン 歌劇「イーゴリ公」より

だったん人の踊り

2026 3.8 15:00 開演 14:15 開場

吹田市文化会館メイシアター 大ホール

<https://www.maytheater.jp/>

阪急千里線吹田駅すぐ・阪急大阪梅田駅より乗車15分/JR吹田駅より徒歩約15分  
※お客様用の駐車場はございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください

【入場料金】一般/3,000円 学生(25歳以下の学生)/1,000円

〈全席指定席〉

※メイシアター・メイトは1割引 ※未就学児童のご入場はご遠慮ください

【チケット発売日】12月9日(火)一般発売

12月8日(月)メイシアター・メイト先行発売

※発売当日は2枚まで

【チケット発売所】

- メイシアタープレイガイド ▶ 06-6386-6333 (9:00~18:30)
- メイシアターインターネットチケット ▶ <https://www.maytheater.jp/>
- e+(イープラス) ▶ <https://eplus.jp>
- チケットぴあ Pコード ▶ 313-764
- ローソンチケット Lコード ▶ 56571





# ここにしかない音を感じに—— 名曲が紡ぐ、心躍るひととき。

映画やミュージカルの名場面を彩ってきたメロディを、  
藤岡幸夫と関西フィルハーモニー管弦楽団が瑞々しく、華やかに届けます。  
親しみやすく耳に残るプログラムは、クラシック初心者から音楽通まで楽しめる内容。  
生演奏ならではの繊細な表情と迫力が、心に残るワンシーンを描き出します。  
日常から少し離れて、吹田でしか味わえない特別な音体験へ——  
ぜひお越しください。

## 藤岡 幸夫 関西フィルハーモニー管弦楽団総監督・首席指揮者

日本指揮者界の重鎮であった渡邊暁雄最後の愛弟子。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。  
英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を特例で受賞。1994年ロンドン「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー以降、数多くの海外オーケストラに客演。総監督・首席指揮者として毎年40公演以上を指揮し、2026年に27年目のシーズンを迎える関西フィルとの一体感溢れる演奏は常に高い評価を獲得、2019年の首席客演指揮者就任直後から展開している東京シティ・フィルとの特徴ある活動は毎回大きな注目を集めている。  
放送出演も多く、番組立ち上げに参画し、指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレビ東京『エンター・ザ・ミュージック』（毎週土曜8:30～）は2025年10月に12年目へ突入、放送500回を超える人気番組。英シャンドスからBBCフィルとのCDを8枚、ALM RECORDSからは関西フィルとの『シベリウス交響曲全集』をリリース。著書に『音楽はお好きですか？』『続・音楽はお好きですか？』『続続・音楽はお好きですか？』（敬文舎）。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。東大阪市特別顧問。滋賀県長浜市PR大使（文化観光大使）。きょうと城陽応援大使。門真情熱大使。

*Sachio Fujioka*

- 公式ファンサイト：  
<https://www.fujioka-sachio.com/>
- X (旧Twitter) アカウント：  
@sacchiyo0608

©SHIN YAMAGISHI

## 関西フィルハーモニー管弦楽団

1970年に発足。2018年に公益財団法人化。2020年に創立50周年。関西を代表するオーケストラの一つ。オーギュスタン・デュメイが2008年より首席客演指揮者、2011年から音楽監督に就任。藤岡幸夫は2000年より正指揮者、2007年より首席指揮者に就任。鈴木優人は2023年4月より首席客演指揮者に就任。故飯守泰次郎（2023年没）は2001年より常任指揮者、2011年より桂冠名誉指揮者を務めた。地域と連携した活動にも力を入れ、テレビ番組出演や海外ツアーなど多彩な発信を続けている。2022年には音楽クリティック・クラブ賞本賞を連続受賞するなど、注目を集める実力派オーケストラである。

オフィシャル・ホームページ ▶ <https://www.kansaiphil.jp/>



©s.yamamoto

# Kansai Philharmonic Orchestra